

令和6年度 自治会活動表彰

自治会活動事例集



～地域まちづくりノート～

地域への“想い”を綴りました。



みんなでまちづくり課
宇都宮市自治会連合会

はじめに

宇都宮市では、市民協働によるまちづくりを推進しており、特に地域コミュニティの基盤となる自治会が主体的に取り組む活動に対して支援しています。

この一環といたしまして、令和6年度に「自治会活動表彰」を受賞した魅力ある自治会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、この冊子を作成しました。

目次

【令和6年度自治会活動表彰（10自治会）】

NO	地区名	自治会名	頁
1	河内	グリーンタウン	1ページ
2	雀宮	高砂町北	2ページ
3	富屋	徳次郎上町	3ページ
4	豊郷	横山町上	4ページ
5	豊郷	関堀町下	5ページ
6	豊郷	陽向台	6ページ
7	富士見	鶴田東原南部	7ページ
8	緑が丘	双葉2丁目	9ページ
9	峰	平松ひかりヶ丘	10ページ
10	陽光	今宮2丁目	12ページ

河内地区 グリーンタウン自治会

●加入世帯数：1252世帯

●加入率：93%

活動内容

グリーンタウンは、1,800世帯が造成され、現在、1,350世帯が住む大型住宅団地です。

1,252世帯が自治会に加入し、7つの部、80の班で構成されています。老人会とサークル活動が活発で、数々の賞を取っています。

夏には、30年以上続く花火大会を実施しており、その日は帰省客も多く見られ、住民の皆さまに楽しんでいただいています。

秋には、昨年より防災・環境・文化をテーマにグリーンフェスタを開催し、好評を博しています。

10年前から高齢者の居場所づくりとして「いきいきサロン」を月2回実施し、安否確認の場ともなっているほか、地域の安全対策として、青色パトロールの巡回を週1回実施しています。

グリーンタウン入口には花を植え、環境美化に努めています。

役員のグループLINEの活用や、班長の情報ツールとしてチャットを活用するなど、デジタル化を進めているほか、会員向けにはホームページを作成し、公開しています。

加入率を維持する秘訣

花火大会、グリーンフェスタなどのイベントに参加し、役員を引き受けていただきながら共に活動することにより、自治会を身近に感じ、傍観者から主体者になっていただいています。

困った時の相談には親身に対応し、解決できるまで努力しています。時には解決策を協議し、皆で知恵を出し合い解決を図っています。

GREEN TOWN PUBLIC INFORMATION Vol.164

グリーンタウン自治会広報

●2024年 2月 ●グリーンタウン自治会 / 発行責任者: 木村由美子 / 編集: 広報部

保存版

自治会の古紙回収にご協力をお願いします

《市から報奨金が交付され、自治会の財源になります》
《2023年実績 ¥172875》

古紙の回収日・回収方法・出し方

1. 回収日: 下記の三つのエリアに分け、**月1回**の回収となります。
① メイン通り北側エリア : 毎月第2木曜日
② メイン通り南側のサブメイン東側エリア: 毎月第3木曜日
③ メイン通り南側のサブメイン西側エリア: 毎月第4木曜日

2. 回収方法: **戸別収集** (各戸の玄関前など道路から見やすい所に出して下さい)
※雨天の時も回収します。

3. 回収時間: 午前8時までに出しておいて下さい。

4. 回収する物: 新聞(折込チラシ含む)、雑誌・書籍、ダンボール、牛乳パック、
その他(食品類の紙箱、包装紙、封筒、ダイレクトメールのチラシ等)
缶・ビンは回収しません→金曜日ごみステーションへ

【以下の紙製品は「焼却ゴミ」で出して下さい】
防水加工がしてあるもの(コーヒーなどの紙コップ、ヨーグルトの容器・カップ類のふた・
内側にアルミが貼ってあるもの等)/食べ物や油などで汚れたもの/レシート等

5. 出し方:
① 新聞、雑誌・書籍、ダンボール、牛乳パックは分別してヒモで十字に縛って下さい。
② 雑誌・書籍はそれぞれで纏めて下さい(新聞、チラシと他の紙とは分けて下さい)。
③ ダンボールを縛らずにダンボール箱に詰めて出すことは、おやめ下さい。
④ その他の紙(食品類の紙箱、包装紙、封筒、ダイレクトメールのチラシ等)は、
紙袋に入れてヒモで縛るか、透明か半透明のポリ袋に入れて下さい。

問い合わせ先: 回収業者 インフィニティ 代表 大塚啓之
住所 立伏町471-44
携帯電話 090-5397-2204
FAX 028-672-2415



雀宮地区 高砂町北自治会

●加入世帯数：150世帯

●加入率：88.2%

活動内容

高砂町北自治会には、50年以上歴史があるソフトボールクラブがあります。前身は自治会の少年野球チームでした。現在40代から87歳のメンバーまで幅広い世代の15名が所属しており、自治会役員7名は全てソフトボールクラブのメンバーです。毎年10月の雀宮地区ソフトボール大会まで、毎週日曜日に練習を行っています。共に汗をかき、春の花見、夏・秋の打ち上げなどを通じて、地域の現状や役員活動などに理解を深めています。

今年会長を含め4名の役員が、13年に渡る安定した自治会運営から退くこととなりましたが、新たに40代、50代のソフトボールクラブのメンバー4名が、気持ちよく役員を引き受けてくれることになりました。

新体制となり、7月の自治会夏祭りでは、昔の伝統を取り戻すため育成会と協力をして、小学生1年生から6年生の12名でも担ぐことが出来る段ボール神輿を、新役員7名で試行錯誤しながら、20年ぶりに子ども神輿として復活させました。スイカ割りやビンゴゲーム、射的、ヨーヨーすくい、かき氷機やビールサーバー、カラオケの設置で高齢者の方々も喜んでいただきました。

結果として、夏祭り参加者約70名、

8月の自衛隊盆踊り大会参加者約50名と、徐々に活気を取り戻すことが出来ました。

今後も、コロナが終息し徐々に日常生活を取り戻していく中で、未来の子どもたちと永年地域に貢献してくれた高齢者の皆さんのため、安心して安全に楽しく生活できる地域を目指して、これからも、ソフトボールクラブ高砂町北が「世代間交流の場として」存在することが、安定した自治会活動運営に繋がっていると確信しています。

加入率を維持する秘訣

役員が安定していることで、地域の皆さんへの信頼が深まり、自治会活動に対する理解と協力を得ることができています。よって、退会される方が少ないと考えています。



富屋地区 徳次郎上町自治会

●加入世帯数：59世帯

●加入率：96.7%

活動内容

徳次郎上町自治会は、コロナ禍においても、公民館周辺や秋場神社参道の除草作業を4・6・8・11月に、草刈りを5・7・9・10月に行ってきました。コロナ禍でこれまでに行っていた行事が中止や縮小されていましたが、5類に移行され少しずつ復活しつつあります。

毎年秋に行われる秋場神社の「甘酒祭」はこれまで役員のみでしたが、今年から自治会を中心に行われる予定です。

「宮まつり」や「とみやふるさとまつり」「智賀都神社祭礼付祭」に向けて、週末の夜に公民館でお囃子の練習を続けているところです。

加入率を維持する秘訣

独り暮らしや高齢者が増えている中、日々見守り活動をしながら、隣近所に声を掛け合うことを大切にしています。

意見や要望、改善すべき点など、日頃よりアンテナを張り、すみやかに対処することを心掛けています。

役員でも分からないことは、先輩や長老を訪ね相談するようにしています。



豊郷地区 横山町上自治会

●加入世帯数：23世帯

●加入率：100%

活動内容

横山町上自治会は、南北を低山、南側に田川が流れる自然豊かな田園地帯です。古くからの町内で、戸数はほとんど変わらず、住民同士も顔見知りで気心も知れており、和気あいあいの関係です。自治会の活動は、自治会一丸となり行われます。

古くから続いている行事として「星の宮神社祭典」の豊作・収穫祭や、「十九夜様」の安産祈願があり、皆で甘酒を飲み楽しんでいきます。「大杉様」では子どもの疫病退散、「ぼうじぼあたり」では、十五夜・十三夜に子ども達が藁で作ったぼうじぼ（棒）で、歌とともに地面をたたき、五穀豊穰・害虫退散を願います。

新しく取り組んでいる活動として、「まほろばの里・豊郷北」事業に参加しています。目的は、農地や水、農村環境の良好な保全と向上を図るものです。

また、令和元年8月より資源物集団回収に取り組んでおり、年4回実施し、代金・補助金は自治会費の一部に充てています。

加入率を維持する秘訣

古くからの集落のため、全世帯で加入しています。転出入者がほとんどいないことや、普段からの近所付き合いが深いことによると考えています。自治会が一丸となって、地域の伝統を守りながら行事を行っています。



豊郷地区 関堀町下自治会

●加入世帯数：36世帯

●加入率：97.3%

活動内容

関堀町下自治会は、37世帯のうち36世帯が加入している小規模な自治会ではありますが、年1回の公民館や神社の清掃を行う一斉清掃には、多くの人が参加しています。

町内にある神社は、平安時代から続く歴史ある神社です。毎年5月に開催される田舞祭では、民族衣装を身にまとい、楽器や歌で五穀豊穡を祈願しており、農家の6世帯が中心となって参加しています。田舞祭のほかに、1月ごろの春渡祭、12月ごろの冬渡祭にも参加をしています。

ごみステーションの清掃は、週替わりで当番を決めており、ごみの分別等をノートに記載し、統計を取っています。資源ごみ回収にも力を入れており、地域全員で協力しながら環境美化に努めています。

加入率を維持する秘訣

地域のお祭りなど、伝統を伝える活動を地道に続けることが大切だと考えています。様々な活動を一丸となって実施しているため、地域の絆が強いのです。



豊郷地区 陽向台自治会

●加入世帯数：28世帯

●加入率：96.6%

活動内容

陽向台自治会は、他の自治会と同様に高齢化の悩みはありますが、小規模で結束が強いです。

大掃除においては、地区入口の坂道に雑草、小木、蔓が大量に繁茂していますが、自治会一丸となり、年齢を感じさせない勢いで処理をしています。備品の一輪車が不具合の時には、部品交換を迅速に行うほか、草刈り機のエンジンの調子が悪ければ、その場で処理をするなど、臨機応変に対応しています。

大掃除期間の合間に、ボランティアで草刈りをしてくれる人もいます。

裏山から木々の入り込みなどの問題も出ますが、できるだけ個々に対応していただいています。

皆さんの協力のおかげで、自治会費用を最小限に抑えた自治会運営ができています。

加入率を維持する秘訣

世帯数が少ない中で、ボランティアを主体としながら、自治会一丸となって活動をしています。

皆さんに協力をいただきながら、自治会費用を最小限に抑えることで、会員の費用負担を軽減できています。

2024 08 11

陽向台自治会 回覧板

自治会長 北原幸康

連絡事項

- ◇ 令和6年度敬老会(9月14日)の参加希望者は、8月10日までにお知らせください。記念品は当日以降にお届けします。各地区によって金額に違いが出ていますが、市から出たものに、各地区会でプラスをしている場合のようです。対象者10名 別途サンヒルズ2名
- ◇ 動物出現の対処
発見した人が交番、市役所等に直接通報してくださいとのことです。第三者を介すると内容が不明瞭になる為(市民センターより)
市役所農林生産流通課 028-632-2476
- ◇ 猛暑のため、各行事を例年より遅い時期にずらしています。
・体育祭 豊郷小 10月13日(日) 陽向台は駐車場担当
・歩け歩け大会 豊郷中央公園 10月27日(日)
・豊郷まつり 11月(宮PASSを利用できるように考える)
- ◇ とよさとの歌 291件の応募があった。
- ◇ 青バハ 集中実施期間 9/2-10/27(地区をブロック化して巡回)

陽向台自治会 回覧板

自治会長 北原幸康

連絡事項

- ◇ 令和6年度敬老会(9月14日)の参加希望者は、各班長経由で、自治会長宛に、8月10日までにお知らせください。(詳細は添付書参照)
- ◇ 展示ポスターで大型のものは、陽向台西公園の用具入れ後ろ面に、掲示してあります。
- ◇ 枝切用のノコギリがなかったので、2本購入しました。
- ◇ 7月6日「20年後の豊郷を考える」の研修会がありましたが、高齢化に対応した組織作りが中心の課題となりました。
- ◇ 春の交通安全運動の立明は、郷間様、北原が参加しました。
- ◇ 3班裏山の山林処理について
*6月の大掃除の時点で、現場を確認したところ、低木の伐倒は実施済みでした。
*その後、所有者の電話が分かったので、連絡をとったところ、姿勢は前向きで、予算の関係もあり、当該者には説明したとの事でした。
- ◇ *7月13日に、塙壁の割れの補修が完了したとの事で、現場を確認致しました。以上で自治会としての関与は終了させていただきます。

「境界線上にある木が、どこのもか分からない？」との複雑な内容もあるようですので、今後は当事者間で討議して決めてください。自治会長は輪番制ですので、次の方に引継ぐと話が複雑化しますので、決着しておきたいのです。

富士見地区 鶴田東原南部自治会

●加入世帯数：285世帯

●加入率：96.9%

活動内容

鶴田東原南部自治会は、95%が区画整理事業地域内にあり、新規転入者と従来の居住者との相互理解と、親睦の工夫を重ねながら、安心して長く暮らせる地域を目指して自治会運営をしています。

主な活動の内容は、回覧による情報提供、子ども会や老人会など、活動団体へ助成金を支援するとともに、団体合同のラジオ体操、公園と道路清掃をするなど、人と人が繋がり、子ども、老人に優しい地域づくりを実践しています。
<そば会食で高齢者支援>

6月と12月に自治会副会長の腕前を披露し、参加者40人へ打ちたて、茹でたてのそばに、絶妙なつゆと福祉協力員の揚げ物盛り合わせやデザートを添えて食べるひとときに、参加者からは笑顔と感謝に溢れる和やかな交流の場として好評をいただいています。

<いきいきサロン>

自治会長をはじめ、民生委員、福祉協力員と老人会員の有志30人が、毎月2回輪投げ、ダーツ、トランプなどのゲームのほか、毎回14曲前後の童謡、懐メロなどを、ピアノ伴奏とカラオケで合唱するほか、おしゃべりタイムを設けてにぎやかに過ごす時間は、オーラルフレイル予防と認知症防止に役立つと大変喜ばれています。

また、地域包括支援センターや市消費生活センターの出前講座では、介護保険や特殊詐欺などの勉強会を実施していただき、新しい情報も共有しています。

<福祉協力員の見回り>

4人の福祉協力員が80歳以上の高齢者62名に対して、誕生日にお菓子のプレゼントを兼ねて体調確認の見回りをしており、独居老人からは話し相手としても喜ばれています。

<文化祭・スポーツフェスティバル>

11月ごろ開催される地区連合自治会主催の文化祭に、当自治会から10人ほど参加し、展示や室内装飾、撤収作業の協力をしており、屋外で実施されている各種スポーツイベントのうち、スナッグゴルフの競技を担当して、住民交流のための活動を実施しています。

<敬老の日の活動>

地域内23班に居住する75歳以上の高齢者113人に対して、会長、副会長と各地区班長同伴で、1件ごとに記念品と粗品を持参して、自治会の存在と活動の協力を仰いでいます。

<河川愛護で感謝状>

「駒生川を愛する会」は毎年5月と10月に、地域を流れる「駒生川」の道路に面した場所を除草し、ジャーマンアイリスやコスモスの植え付け作

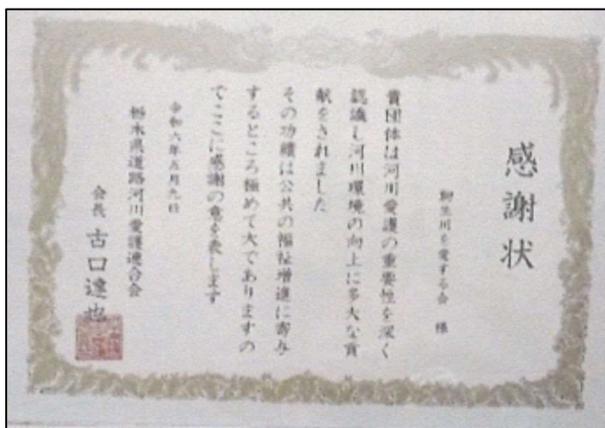
業を実施していますが、長年清掃活動を継続していたことで功績を認められ、「栃木県道路河川愛護連合会」より感謝状を拝受しました。参加している20人弱のメンバーには大きな励みになっています。

加入率を維持する秘訣

当自治会の事情(区画整理事業内)により、転出、転入が頻繁で、戸建て住宅や賃貸住宅も増加傾向にあります。そのため、地区内の見回り点検を自治会役員が継続して行うことで、地域における人の変動を見守っています。

転入者のうち、主に児童のいるほとんどの家庭では自治会に加入いただいています。

課題としては、戸建て、賃貸住宅に住む単身者や若い共働き夫婦の家庭に、自治会の存在や意義についての啓蒙が必要と考えております。



緑が丘地区 双葉2丁目自治会

●加入世帯数：256世帯

●加入率：56%

活動内容

防犯パトロール活動は、毎月第2金曜日に約8名で行っており、夏休みには子どもも参加しています。宮本交番集合のため、警察官同行の機会も多く、危険な場所や空き家、防犯灯の確認や声掛けなどを実施しています。

資源物回収活動は、自治会内のごみステーションを対象に毎月2回、午前中に集積場の整理を行い、午後回収業者に引き渡しを行っており、各班長約40名が参加しています。ブルーシートに注意書きを貼り出し、盗難防止対策を行うなど、活発に活動しています。平成29年に当自治会で土地購入、法人化したため、回収金で新築の自治会館を建てるのが目標です。

加入率を維持する秘訣

アパートやマンションに対して加入促進のチラシを配布するなど、地道な取り組みを展開しています。

自治会館で月2回、カラオケや体操、子ども達を交えた輪投げなどを行っており、地域の交流を積極的に図っています。

集合住宅、事業所などが多い地域のため、多様な地域活動を通して、気にかける関係づくりに尽力しています。



峰地区 平松ひかりヶ丘自治会

●加入世帯数：270世帯

●加入率：98.2%

活動内容

平松ひかりヶ丘自治会は、元々「平松本町第二自治会」と称していましたが、平成24年4月から「平松ひかりヶ丘自治会」と改称して現在に至ります。なお、当自治会の地域は平成11年にスタートした区画整理事業が終了を迎え、令和6年3月23日をもって住居表示の変更が行われ、新しい街が誕生しました。

この間、区画整理事業が進むことによって、仮換地により地域内の住民はあちこちに移動してしまい、自治会の班はバラバラの状態となり、回覧一つとっても大変苦勞がありました。これによって元のコミュニティは崩壊してしまいましたが、新しい住民の増加もあり、新たなコミュニティの形成に努め、今日を迎えております。

そして、今年5月に念願のコミュニティ事業「自治会まつり」を実施することができ、本地域のコミュニティの深化を図る活動をスタートさせることができました。

<公民館建設と利用促進>

平成24年10月に開館記念式典を実施し、住民活動の拠点として、いきいき健康サロン、老人クラブの卓球、囲碁など各種の活動に利用されてきました。年間平均利用人数は2,000名弱で推移していますが、毎年「みんなの公民

館」として一層の利用促進に努めています。

<班の再編>

区画整理事業の街区整備の進捗状況を見極め、令和元年度から自治会の班の再編について検討開始し、令和2年度に会員に対して再編案を提示したのち、全員の了承を得て令和3年度から新しい班の下に自治会活動を展開していきました。

<ごみステーション利用実態調査>

班の再編案検討の際に、会員が利用しているごみステーションの利用実態調査を実施し、利用ステーションの調整を行い、各ステーションにおける利用者自らの清掃管理の意識の徹底を図り、自治会会員の加入促進に役立てています。

<防犯灯設置の充実>

防犯灯設置数は、平成28年に118灯でしたが、街区整備の工事の真っ最中であり、工事に伴う電柱の移動が激しく、正確な把握が難しいところがありました。令和4年には防犯灯設置電柱の確認と計画的な設置が可能となりました。令和5年における設置数は167灯であり、概ねの目標を達成することができました。

<自治会まつりの実施>

区画整理事業の進行に伴う課題と向き合う中で、諸条件の整備を図ってき

ましたが、令和6年3月23日の住居表示の変更が行われる際に、住民間のコミュニティの深化を図る事業の展開を漕ぎつける段階に至りました。

このことから、令和5年10月に開園された「平松ひかり公園」を会場として「自治会まつり」を開催することを検討し、令和6年5月18日（日）に開催しました。約300人の方に参加いただき、今後のコミュニティ形成の大きな柱として発展させていきたいです。

<資源物集団回収の実施>

当自治会では、資源物集団回収を継続して実施しています。毎月集団回収の実績を会員にお知らせし、一層の協力を要請してきました。集団回収の報償費は年額9～10万円で伸びはないものの、確実な財源確保となっています。

加入率を維持する秘訣

ゴミステーションの利用実態調査によって、班の再編時、共同利用に係る意識の高揚を図り、ゴミステーションの利用とその清掃参加について関心を高めてきました。このことによって、市の「ゴミステーション設置要領」に基づく利用者の義務について理解を求め、班長による新規住民との接触時に、強く加入勧誘を進められるようにしています。

なお、一部には自治会加入を拒否しながらもゴミステーションを利用しようとする方もいますが、その際には、必ずゴミステーションの清掃当番を怠ることのないよう、見守っていただくこ

ととしています。



陽光地区 今宮2丁目自治会

●加入世帯数：320世帯

●加入率：66.8%

活動内容

今宮2丁目自治会は、1975年に設立されました。現在は320世帯が自治会に加入し、陽光地区連合自治会と共に、ふるさと陽光まつりの盆踊り、陽光地区体育祭、陽光冬まつりのどんと焼きなどの行事に参加し、活動しています。

独自の活動としては、年6回実施している防犯パトロールや、福祉活動における高齢者の見守り、老人会による除草作業、親睦を深めるための花見などを実施しています。

また、女性部の活動として、ふるさと陽光まつりに浴衣を着て盆踊りに参加するなど、地域でのコミュニケーションを大事に、つながりのある自治会を目指し、役員が一丸となって取り組んでいます。



加入率を維持する秘訣

令和に入ってから、新築住宅の建設や空き家の入居が増え、加入促進に努めています。若い世代の自治会未加入や高齢者世帯の退会が増えている中で、特に若い世代の加入促進をするため、広報活動に力を入れ、地域行事の周知を図っています。

また、若い世代の子ども会や育成会活動に力を入れ、ふるさと陽光まつりの時には、子ども達にお菓子のつかみ取りをしてもらい、大変喜ばれています。



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA